

アサガク(朝学習)×防犯 安全教室

(指導資料)

ここがオススメ！

- ◆ 児童がより挨拶できるようになる
- ◇ 児童がより安心して登下校できる
- ◆ 月1回×4回で学習効果が期待できる
- ◇ 地域における見守り活動が強化される
- ◆ 防犯ボランティアのやる気が高まる
- ◇ 学校と地域の絆が深まる



題材	みんなを守ってくれる地域の人を知ろう！	
ねらい	防犯ボランティアの方や子ども 110 番の家は、自分たちを守ってくれていることに気づくとともに、地域の方の名前や顔を知ること、つながりを深めるようする。	
授業の流れ(10 分コース)		
0:00	自己紹介	□□:●年生のみなさん、おはようございます。 今日は、〇〇小学校の見守り活動をしていただいている防犯ボランティアの方といっしょに、身の回りの安全について勉強しましょう。 △△:〇〇小学校で防犯ボランティアをしている△△といいます。 私のことを知っているかな？ (「知っている人いますか?」と挙手を求めてもよい) △△:私たちは、このような格好をして、朝、みなさんが 安全に登校できるように、見守り活動をしています。 △△:団体の話など・・・(簡潔に活動の紹介をする)
2:00	登下校で気をつけてほしいこと	□□:登校の様子を見て、気を付けてほしいことはありますか？ △△:自動車や自転車とぶつからないように、1列で歩くようにして交通事故に気を付けてほしいです。 △△:通学路には、用水路があるところもあります。用水路にはまると大変危険ですので、遊びで近づいたり、入ったりしないようにしましょう。 △△:毎朝、私たちはみなさんの様子を見て元気をもらっています。だから、あいさつをしてくれるとうれしくなります。私たちに会ったら、元気よくあいさつをしてほしいと思っています。
4:00	子ども 110 番の家説明 (パネル提示)	□□:さて、みなさん、次はこの絵 (パネル) のお話をします。 ※□□がパネルを挙げる。  △△:この絵は、「子ども110番の家」といいます。 △△:では、「子ども110番の家」は何をしたらいいのか知っている人はいますか？ (知っている児童がいたら発言) △△:困ったときに、かけこむことができる安全な場所のことです。今日、学校の帰りに探してみてください。 △△:でも、近くにないときは、どこの家でもいいので助けを求めてください。分かりましたか。
6:00	まとめ	△△:今日は、話を聞いてくれてありがとう。これからも、安全に学校に来て、元気な笑顔を見せてください。 □□:これで、防犯教室を終わります。

題材	「わるい人」ってどんな顔？
ねらい	わるい人は見た目では判断できないことを知る。
授業の流れ(10分コース)	
0:00	不審者のイメージを膨らませる □□: ●年生のみなさん、おはようございます。 今日は、「わるい人」ってどんな人なのか、一緒に考えていきましょう。 △△: みなさん、「不審者」という言葉を知っていますか？ パターン1 (知っている児童がいたら発言) パターン2 (となりの児童と話をさせる → 発言) △△: それでは、ここで問題です。
2:00	わるい人は誰か考えさせる □□: (パネルを挙げる)  △△: わるい人だと思う人に手を挙げてください。 △△: ① 帽子、マスクにサングラスの人だと思う人 ② メガネにひげのおじさんだと思う人 ③ 若いお姉さんだと思う人 ④ 若いお兄さんだと思う人 (児童に理由を発言) △△: 正解は・・・「ありません」 △△: 確かに、帽子、マスクにサングラスの人は怪しいです。 △△: もし、今日の帰り道、こんな格好の人が、自分のことを、じっと見ていたら、どうしますか？ (児童に発言を求めてもよい) △△: きっと、逃げたり、近くの人に助けを求めたりするでしょう。 △△: こんな格好で悪いことしようと思っても、子どものほうから逃げてしまうし、地域の人「ここで何をしてるんですか。」って声をかけるかもしれません。 △△: では、わるい人はどんな格好をしていると思いますか？ △△: 実は、服装や見た目ではわからないのです。 怪しい人は、おじさんだけでなく、お兄さんもあるし、おばさん、お姉さんもあります。
6:00	まとめ △△: それでは、今日のまとめです。 △△: わるい人は見た目ではわかりません。知らない人に声をかけられて、こわいと感じたら、すぐに、助けを求めてください。 △△: でも、知らない人でも「あいさつ」だけなら大丈夫です。あいさつをすると、地域のきずなが深まり、わるいことをしようとする人が近寄りにくい町になります。私たち(地域の見守りの人)にも、元気よくあいさつをしてほしいです。 □□: これで、防犯教室を終わります。

題材	どちらの道を通る？
ねらい	安全な場所と危険な場所があることを知り、危険な場所を回避する行動がとれるようにする。
授業の流れ(10分コース)	
0:00	学習内容を伝える □□：●年生のみなさん、おはようございます。 今日は、「どの道を通れば、安全に帰れるか」を一緒に考えていきましょう。 (パネルを挙げる) 
1:00	問題について考えさせる △△：それでは、問題です。 友だちの家から帰るところです。遅くなったので、早く帰りたいと思っています。 いつもの道は、明るいけれど遠回りです。 近道の神社の中を通る道は、誰もいなくて暗いです。 △△：さて、みなさん、どちらの道を帰りますか。 (児童に理由も含めて発言させる。) △△：この場合は、遠回りでも、明るい道を選んで帰りましょう。
3:00	解説 △△：その理由は、わるい人が好きな場所があって、それが「<u>誰もが入りやすいところ</u>」「<u>誰からも見えにくいところ</u>」*です。 だから、「誰もいなくて暗い神社の道」は、わるい人が好きな場所になるので、わるい事が起こってしまうかもしれません。 ※【参考】 「誰もが入りやすいところ」… 誰もが入りやすく、犯罪者が簡単に近づけて、逃げられる場所 「誰からも見えにくいところ」… 犯罪者が隠れやすく、犯行が目撃されにくい場所 △△：他にも、わるい事が起こるかもしれない場所は、 ▶ トンネルや、右も左も高い壁がある道 ▶ 周りに何も無い、田んぼに囲まれた道 (※ 地域の実情に合わせて、気を付けてほしい場所の紹介をする。) などがあります。 △△：どうしても、そのような道を通らなければならない場合は、おうちの人に迎えに来てもらうなど、大人と一緒に通るようにしましょう。
6:00	まとめ △△：それでは、今日のまとめです。 △△：「<u>誰もが入りやすいところ</u>」「<u>誰からも見えにくいところ</u>」は、わるい事が起こるかもしれないので、できるだけ、そのような道は、通らないようにしましょう。 □□：みなさん、分かりましたか。 これで、防犯教室を終わります。

題材	こんなときどうする？(声かけの手口①)
ねらい	具体的な声かけ場面を学び、適切に対応できるようにする。 (「不安つけ込み型」の声かけ)
授業の流れ(10分コース)	
0:00	学習内容を伝える □□: ●年生のみなさん、おはようございます。 今日は、知らない人から声をかけられた時に、どうしたらよいか学習しましょう。 (パネルを挙げる) 
1:00	問題について考えさせる △△: それでは、問題です。 知らないおじさんに「おうちの人、事故にあったから、車に乗って病院へ行こう」と言われました。 さて、みんなはどう答えますか? 選択肢①: 「大変だ! 連れて行って」と車にのる。※ 選択肢②: 「行きません。」と言って、すぐにその場所からはなれる。 ※ 児童が「車に乗る」と答えるケースもあります。 「心配なんだね」と認めてあげてください。 △△: 絶対に、知らない人の車に乗ってはいけません。 △△: では、おうちの人、事故にあったかどうか、どのように確かめますか? (児童から発言を求める。) ※ 様々な回答があると思います。 ・家に電話をかける ・家に戻る ・警察や学校に行き話をする ・近くの人に助けを求める など △△: いろいろな方法で確認ができますね。
3:00	演技をさせる △△: では実際に、その場面をやってみましょう。 知らない人役をやりますので、だれか子ども役をやってくれませんか。 (児童の挙手、又は指名する。) ※ 時間配分を考えながら、何人かの児童で演技
6:00	まとめ △△: 演技してくれたみなさん、ありがとう。 △△: わるい人は、いろいろな方法で、みなさんをだまそうとします 「困った」と思った時は、すぐに大人に助けを求めましょう。 □□: みなさん、分かりましたか。 これで、防犯教室を終わります。

題材	自分を守る大切なアイテム	
ねらい	防犯ブザーの使い方を知り、困ったときにすぐに使えるようにする。	
授業の流れ(10分コース)		
0:00	学習内容を伝える	□□: ●年生のみなさん、おはようございます。今日は、「自分を守る大切なアイテム」のお話です。 (パネルを挙げる)  △△: 自分を守る大切なアイテムは「防犯ブザー(ホイッスル)」のことです。
1:00	問題について考えさせる	△△: それでは、問題です。 「防犯ブザー(ホイッスル)」はどのような時に、使うでしょうか? 選択肢①: 大きな音が鳴るので、周りの人を驚かせるときに使う。 選択肢②: わるい人に連れて行かれそうになった時に使う。 (児童に、2択で挙手させる)
	解説	△△: 「防犯ブザー(ホイッスル)」は、わるい人に連れて行かれそうになった時など、きけんだと感じたときに、音を鳴らして、周りの人に自分のことを知らせるものです。遊びで使ったらダメですよ。
		△△: 第2問です。 「防犯ブザー(ホイッスル)」は、どこに付けたらいいでしょうか? 選択肢①: ランドセルの中に入れておく。 選択肢②: ランドセルの外に付けておく。 (児童に、2択で挙手させる)
	解説	△△: ランドセルの中に入れておくと、いざという時に使えないので、外に付けておくようにしましょう。 △△: みなさんは、「防犯ブザー」が鳴るかどうか確かめていますか。 電池が切れていると、鳴らそうとしたときに使えないので、ときどき、おうちの人に確認をしてもらってください。
4:00	実践させる	△△: では、実際に「防犯ブザー(ホイッスル)」を鳴らしてみましょう。 (「防犯ブザー(ホイッスル)」を準備し、 「せーの!」で一斉に鳴らしてみる)
6:00	まとめ	△△: 今日のまとめです。 「こわい」と思ったら防犯ブザーを鳴らしましょう。鳴らしたあとは、こども110番の家やお店などに逃げて、大人に助けを求めましょう。 □□: これで、防犯教室を終わります。

題材	こわいと感じたら？	
ねらい	こわいと感じた時には、どのように行動すればよいのか考え、自分の命を守る行動ができるようにする。	
授業の流れ(10分コース)		
0:00	学習内容を伝える	□□：●年生のみなさん、おはようございます。 今日は、こわいと感じたとき、 どのように行動すればよいのか、 一緒に考えましょう。 (パネルを挙げる) こわいとかんじたら？
1:00	問題について考えさせる	△△：このパネルを見てください。学校などからの帰り道のようなです。知らない人がついてきます。男の子はどう思ったでしょう。 (児童から発言) → 知らない人から、ジロジロ見られていやだな → 知らない人が、あとをつけられてこわいな △△：それでは、知らない人にあとをつけられた時、みなさんは、どのようにしますか？ (児童から発言) → 走って自分のおうちまで帰る → 近くのお店や家に逃げる など △△：いろいろな意見をありがとう。
	解説	△△：大切なことは、こわいと感じたら、その人に近づかないこと。 その場所から離れること。 そして、近くにいる大人に助けを求めること。 「お店」や「子ども110番の家」は、大人がいるので安全な場所です。
4:00	「いかのおすし」の確認させる	△△：では、車で連れ去られそうになったらどうしますか？ (児童から発言) → 大声で「助けて」って叫ぶ → 防犯ブザーを鳴らす など △△：みなさんは、「いかのおすし」を知っていますか 「いか」は？ → (いかない) 「の」は？ → (のらない) 「お」は？ → (おおごえをだす) 「す」は？ → (すぐににげる) 「し」は？ → (しらせる)
6:00	まとめ	△△：しっかり、このことを守ってください。 △△：それでは、今日のまとめです。 「こわい」と感じたら、その人に近づかないように、安全なところに逃げて、大人に知らせましょう。いざとなったら、大声を出したり、防犯ブザーを使ったりしましょう。 地域には、みんなを守ってくれる、やさしい大人がたくさんいますよ。 □□：これで、防犯教室を終わります。

題材	あんぜんかな？きけんかな？	
ねらい	通学路に、安全な場所や危険な場所があることを知ること、安全に気を付けて登下校できるようにする。	
授業の流れ(10分コース)		
0:00	学習内容を伝える	□□:●年生のみなさん、おはようございます。 今日は、学校の行き帰りで、安全なところや危険なところを、見つけていきます。一緒に考えてください。 (パネルを挙げる) 
1:00	問題について考えさせる	△△:さて、このパネルの上側のイラストは、学校の帰りの様子です。 この道は、安全だと思いますか？それとも、危険だと思いますか？ (「安全」か、「危険」かの二択で挙手) (その理由を聞いてもよい) → ガードレールがあるから安全 → 人がいないから危険 など △△:いろいろな理由を言ってくれてありがとう。
	解説	△△:この道には、「ガードレール」があります。 このガードレールは、交通安全でとても大切な役割をしてくれています。 それだけではなくて、ガードレールの横では、車のドアが開けにくいので、車を停めることができません。 つまり、車で「連れ去られること」を防ぐことができます。 だから、安全な道になります。
	解説	△△:次に、パネル下側のイラストを見てください。 この道は、安全だと思いますか？危険だと思いますか？ (「安全」か、「危険」かの二択で挙手) (その理由を聞いてもよい) → ガードレールがないから危険 → 家があるから安全 など
		△△:こちらのイラストは、先ほどのようにガードレールがなく、車が走る道と歩く道が分かれていないので気を付けなくてははいけません。 さらに、イラスト左下側に、車が停まっています。エンジンがかかっているようです。このような車の横を通ると、連れ去られてしまうことがあります。 このような場合は、安全を確認しながら反対側に渡り、車から少し離れて通ることがよいでしょう。
6:00	まとめ	△△:それでは、今日のまとめです。 車の道の横を歩く時は、できるだけガードレールがある道を通りましょう。 車が停まっていて、不安を感じたら、学校に戻って先生に知らせてもいいと思います。 □□:これで、防犯教室を終わります。

題材	こんなときどうする？（声かけの手口②）	
ねらい	具体的な声かけ場面を学び、適切に対応できるようにする。 （「要求型」の手口）	
授業の流れ（10 分コース）		
0:00	学習内容を伝える	□□：●年生のみなさん、おはようございます。 今日は、知らない人から声をかけられた時に、どのようにしたらいいか学習していきましょう。 （パネルを挙げる）
1:00	問題について考えさせる	△△：一人でいるときに、お姉さんから「お財布をなくしたから、一緒に探してくれない？」と言われました。 さて、みなさんはどうしますか？ （選択肢の中から挙手で回答させる） 選択肢①：一緒に探す 選択肢②：探さずに断る △△：それでは、①「一緒に探す」に手を挙げた人、理由を教えてくださいませんか。 （児童が挙手で発言） → 困っている人を助けたいから など △△：そうだね。困っている人を助けることは、とてもやさしいことです ね。 △△：では逆に、②「探さずに断る」に手を挙げた人、理由を教えてくださいませんか。 （児童が挙手で発言） → 財布をなくしたことが、ウソかもしれない など △△：本当に、困っていたら、警察に相談することもできますね。
	解説	△△：この場合は、一人で助けようとしてははいけません。 「おとなの人を呼んできます」や 「警察に言ってください」と言うといいですね。 そうすれば、困っている人を助けることができるし、危険な目にもあわなくて済みます。
3:00	演技する	△△：では、実際に演技してみましょう。財布をなくした人役をしますので、子ども役をやってください。 （児童の挙手、又は指名する。） ※ 時間配分を考えながら、何人かの児童で演技 △△：演技をしてくれた人ありがとう。
6:00	まとめ	△△：それでは、今日のまとめです。 人のやさしさを利用して、みんなをだまして、悪い事をしようとする人がいたら、一人でどうにかしようとせずに、大人に助けを求めるようにしましょう。 □□：これで、防犯教室を終わります。

題材	こんなときどうする？(声かけの手口③)	
ねらい	具体的な声かけ場面を学び、適切に対応できるようにする。 (「賄賂(わいろ)型」の手口)	
授業の流れ(10分コース)		
0:00	学習内容を伝える	□□:●年生のみなさん、おはようございます。 今日は、知らない人から声をかけられた時に、どのようにしたらいいか学習していきましょう。 (パネルを挙げる)
1:00	問題について考えさせる	△△:一人でいるときに、お兄さんから「欲しいものを買ってあげるよ。だから一緒に遊ぼうよ」と言われました。さて、みなさんはどうしますか？ (児童から発言) → ついて行かない など ※ 何人かの児童から発言を求めてもいい △△:それでは、理由を教えてください。 (児童が挙手で発言) → 連れて行かれる など
	解説	△△:そうだね。知らない人について行ったらいけません。そのまま、連れ去られてしまうかもしれません。
3:00	演技する	△△:では実際に、その場面をやってみましょう。 知らない人役をやりますので、誰か子ども役をやってくださいませんか。 (児童の挙手、又は指名する。) ※ 時間配分を考えながら、何人かの児童で演技
6:00	まとめ	△△:演技をしてくれたみなさん、ありがとう。 △△:それでは、今日のまとめです。 わるい人は、いろいろな方法で、みなさんをだまそうとします。 欲しい物を買ってあげる他に、人気のあるゲーム機を見せて誘うパターンもあります。 好きな物で誘われてもついて行ってはいけません。 「困った」と思った時は、すぐに大人に助けを求めましょう。 □□:みなさん、分かりましたか。 これで、防犯教室を終わります。

題材	こんなときどうする？(声かけの手口④)	
ねらい	具体的な声かけ場面を学び、適切に対応できるようにする。 (見たことがある人から声をかけられたケース)	
授業の流れ(10分コース)		
0:00	学習内容を伝える	□□:●年生のみなさん、おはようございます。 今日は、見たことがある人から声をかけられた時に、どのようにしたらいいか学習していきましょう。 (パネルを挙げる) こんなときどうする？
1:00	問題について考えさせる	△△:学校からの帰り道、名前は知らないけれど、見たことがあるおじさんから「もう学校は終わったの?」と声をかけられました。さて、みなさんはどうしますか? (児童が挙手で発言) → 無視する → あいさつする など ※ 何人かの児童から発言を求めてもいい △△:それでは、「無視する」理由を教えてください。 (児童が挙手で発言) → よく知らない人だから話はしない など △△:それでは、「あいさつする」理由を教えてください。 (児童が挙手で発言) → 「あいさつ」は大切だから など △△:いろいろな考えがありますね。
	解説	△△:まず、「あいさつ」は大切なことです。だから、よく知らない人でもあいさつはしてほしいです。 でも、あいさつの後に、「おうちまで送ってあげるよ」とか、「そこで少し話しようよ」とか、誘うような話があると、気を付けなければいけません。 誘われたら、「(自分で)おうちに帰りますので、さようなら」など、ハッキリ断わりましょう。
3:00	演技する	△△:では実際に、その場面をやってみましょう。 知らない人役をやりますので、誰か子ども役をやってくださいませんか。 (児童の挙手、又は指名する。) ※ 時間配分を考えながら、何人かの児童で演技 △△:演技をしてくれたみなさん、ありがとう。
6:00	まとめ	△△:それでは、今日のまとめです。 地域の人には、あいさつをしましょう。 あいさつをした後に不安になるような話があったら、すぐに、その場から離れて、大人に知らせましょう。 □□:みなさん、分かりましたか。 これで、防犯教室を終わります。